



コウノトリが飛来しました！

8月31日、GPS情報で荒川河川敷にコウノトリが降り立ったことが確認され、9月1日に明用・前砂地内で市民の方が発見しました。

このコウノトリは平成28年に千葉県野田市が放鳥した「きずな」(オス)です。野田市のGPS情報では、平成28年10月にも本市への飛来が確認されていますが、写真に収められたのは初めてです。

地域の皆さんがそっと見守る中、翼を広げたりゆっくり歩いたり、凜とした姿を見せてくれました。その後、行田方面に悠々と飛び立っていったとのこと。



▲電柱の上で大きな翼を広げている「きずな」



▲餌を探して散歩中

吹上地域では、生産者や市民団体が連携し、無農薬によるお米づくりをはじめ、魚道の設置、ふゆみずたんぼ等、環境にやさしい農業に取り組んでおり、2シーズン連続でオオハクチョウが飛来しています。今回のコウノトリの飛来も、このような取組の1つの成果と言えるのではないのでしょうか。

市では、再びコウノトリが訪れるような自然環境づくりを目指し、取組を進めていきます。

コウノトリの飼育施設の建設候補地を選定

市では、「人にも生きものにもやさしいコウノトリの里こうのす」の実現を目指し、事業全体のリーディングプロジェクトとして、飼育に向けた検討を行っています。

この度、飼育施設の建設候補地をコスモスアリーナふきあげ敷地内に選定しました。また、平成31年度末を目途に、飼育に向けた計画の策定を進めていきます。



コウノトリの里づくり基金へのご支援をお願いします

コウノトリの里づくり基金は、豊かな自然環境、住みよいまちをつくる基金です。環境にやさしい農法によるお米を学校給食・3歳児健診受診者へのプレゼントに活用する事業や、子どもたちへの環境教育、飼育に向けた取組等に活用させていただきます。皆さんの温かいご支援をお待ちしております。

詳細はお問い合わせいただくか、市ホームページ(「鴻巣市コウノトリの里づくり基金」で検索)をご覧ください。



問い合わせ／環境課コウノトリの里づくり担当 (内線 3173)



青年海外協力隊員として パナマへ

市内在住の久保田公平さんが、JICAの青年海外協力隊員としてパナマへ派遣されるにあたり、原口市長を表敬訪問しました。

久保田さんは2年間、配属先のアスエロ環境保全プロジェクトで、ウェブ制作やSNSの活用等について指導を行います。

(アスエロ半島=パナマ南部に位置する自然豊かな場所)



秋の全国交通安全運動

9月21日、秋の全国交通安全運動出発式が行われました。

「秋の全国交通安全運動」では、「交通事故死ゼロ」を目指し、子どもや高齢者の安全な通行の確保や高齢運転者の交通事故防止、飲酒運転の根絶を呼びかけました。



祝！全国大会出場

男女混合のバレーボールチームである鴻巣南JVCが、第38回全日本バレーボール小学生大会埼玉県大会で優勝し、全国大会に出場しました。原口市長に報告した皆さんは、日頃の練習の成果が出たことなどを嬉しそうに話しました。



「浦安の舞」を披露

9月14日、吹上鎌塚八幡神社で、平和で安泰な世を願う神前神楽舞「浦安の舞」が奉納されました。

毎年、市内の小学4年生の女子児童が受け継ぐ伝統があり、今年は3人の巫女が優雅な舞を披露しました。



100歳！ますますお元気で



武井とくさん



田嶋久仁枝さん



岡田そめさん

100歳を迎えられた武井とくさん（大正7年9月20日生・天神）、田嶋久仁枝さん（大正7年9月22日生・前砂）、岡田そめさん（大正7年9月24日生・上会下）をお祝いました。健康長寿は市民みんなの願いです。9月26日現在、市内で100歳以上の方は44人います。これからもどうぞお元気で。